

# 平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

## 『ワールド・カフェ（病院と在宅医療・介護との連携）』

演題：『病院勤務医の在宅医療参入への試み』

講師：おもろまちメディカルセンター 循環器内科部長 嘉数朗氏

テーマ：『医療・介護依存度の高い患者の在宅療養』

発表者：大浜第一病院 地域医療連携センター MSW 當銘由香氏

○日時：平成30年11月28日（水） 午後6時30分～8時30分

○場所：大浜第一病院・2階ふれあいセンター

○参加者：66名

（医師11名、看護師19名、保健師2名、MSW6名、介護支援専門員6名、リハビリ8名、薬剤師2名、栄養士1名、社会福祉士2名、その他9名）



司会：前田 武俊氏



開会挨拶：知念 徹氏



講師：嘉数 朗氏



発表者：當銘 由香氏



閉会挨拶：

新垣 寛氏



ワールド・カフェ 全体風景



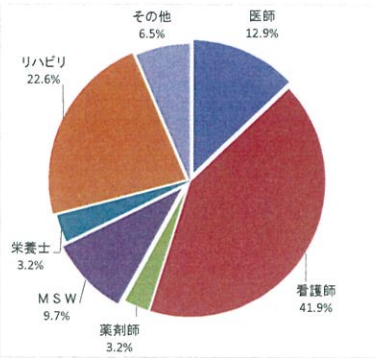
# 平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 ワールド・カフェ(病院と在宅医療・介護との連携)アンケート集計結果

日時:平成30年11月28日(水) 午後6時30分～8時30分  
場所:大浜第一病院・2階ふれあいセンター

参加者:66名  
回答者:53名  
回収率:80.3%

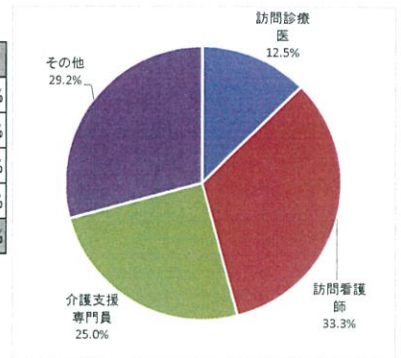
## アンケート回答者の職種(院内)

| 職種   | 人数 | 割合     |
|------|----|--------|
| 医師   | 4  | 12.9%  |
| 看護師  | 13 | 41.9%  |
| 薬剤師  | 1  | 3.2%   |
| MSW  | 3  | 9.7%   |
| 栄養士  | 1  | 3.2%   |
| リハビリ | 7  | 22.6%  |
| その他  | 2  | 6.5%   |
| 合計   | 31 | 100.0% |



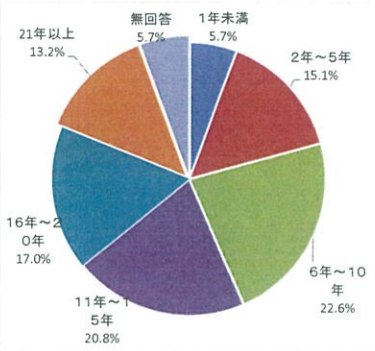
## アンケート回答者の職種(院外)

| 職種      | 人数 | 割合     |
|---------|----|--------|
| 訪問診療医   | 3  | 12.5%  |
| 訪問看護師   | 8  | 33.3%  |
| 介護支援専門員 | 6  | 25.0%  |
| その他     | 7  | 29.2%  |
| 合計      | 24 | 100.0% |



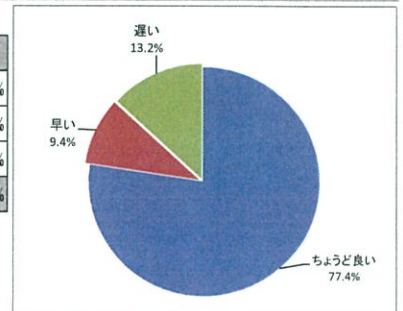
## アンケート回答者の経験年数

| 経験年数    | 人数 | 割合     |
|---------|----|--------|
| 1年未満    | 3  | 5.7%   |
| 2年～5年   | 8  | 15.1%  |
| 6年～10年  | 12 | 22.6%  |
| 11年～15年 | 11 | 20.8%  |
| 16年～20年 | 9  | 17.0%  |
| 21年以上   | 7  | 13.2%  |
| 無回答     | 3  | 5.7%   |
| 合計      | 53 | 100.0% |



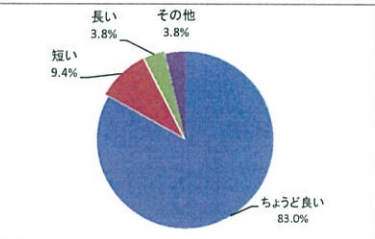
## ①研修会の開始時間について

| 選択肢    | 人数 | 割合     |
|--------|----|--------|
| ちょうど良い | 41 | 77.4%  |
| 早い     | 5  | 9.4%   |
| 遅い     | 7  | 13.2%  |
| 合計     | 53 | 100.0% |



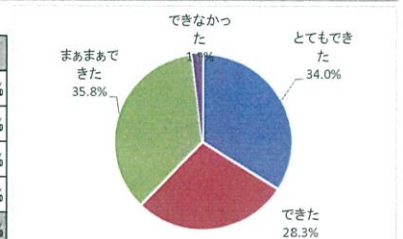
## ②研修会全体の時間について

| 選択肢    | 人数 | 割合     |
|--------|----|--------|
| ちょうど良い | 44 | 83.0%  |
| 短い     | 5  | 9.4%   |
| 長い     | 2  | 3.8%   |
| その他    | 2  | 3.8%   |
| 合計     | 53 | 100.0% |



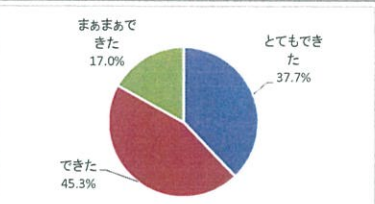
## ③ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

| 選択肢     | 人数 | 割合     |
|---------|----|--------|
| とてもできた  | 18 | 34.0%  |
| できた     | 15 | 28.3%  |
| まあまあできた | 19 | 35.8%  |
| できなかった  | 1  | 1.9%   |
| 合計      | 53 | 100.0% |



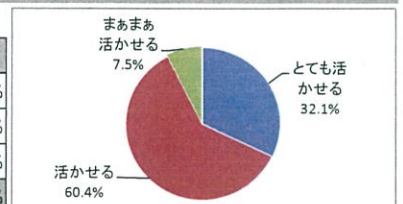
## ④多職種間の相互理解を深めることができましたか。

| 選択肢     | 人数 | 割合     |
|---------|----|--------|
| とてもできた  | 20 | 37.7%  |
| できた     | 24 | 45.3%  |
| まあまあできた | 9  | 17.0%  |
| 合計      | 53 | 100.0% |



## ⑤今後の業務に活かされますか。

| 選択肢      | 人数 | 割合     |
|----------|----|--------|
| とても活かせる  | 17 | 32.1%  |
| 活かせる     | 32 | 60.4%  |
| まあまあ活かせる | 4  | 7.5%   |
| 合計       | 53 | 100.0% |



## ⑥病院と在宅医療・介護との連携を進めるうえで必要と思われることがありましたらご意見等をお聞かせください。

- ・ 今後はC Vポート施設患者さんの在宅医療の受け入れの拡大。
- ・ 多職種間での情報共有が持てる場が必要(カンファレンスの定着化)
- ・ 退院後の生活のスケジュールをしっかりと把握する。
- ・ ケースごとに退院前カンファレンス(本人・家族交えて)は必要。
- ・ 在宅、施設では介護士の力も必要。介護士も交えて議論したい。
- ・ コミュニケーションを取ることが必要。サマリー強化も大切。
- ・ 入院中にACPの共有ができると在宅支援に活かせるのでは。
- ・ 医師会で多数の病院、クリニックの役割や機能を共有して包括ケアシステムが作れるようにしてほしい。主治医と相談しやすい環境づくり。
- ・ 利用できるサービスの種類と頻度、料金の把握が難しい。
- ・ 在宅でどこまでできるか知りたい。役所のパンフ分かりにくい。
- ・ 課題を明確化にし、ご本人ご家族へ伝える。
- ・ 患者さんの意志決定支援、家族のサポート力、リスク面の説明。
- ・ 在宅側から病院への連絡連携が難しい。SNS等の方法は?
- ・ 急性期病院と地域包括ケア病棟、在宅医療連携のWinWinの関係性。
- ・ せっかく集まる良い機会なのでワールドカフェの二次会もしたい。

## ⑦研修会全体を通してのご意見・ご感想、今後取り上げてほしい内容・テーマ等がありましたらお聞かせください。

- ・ 想像していたように介護の世界でできる事が多いことを学んだ。薬剤師の関わり方を考えてみたい。
- ・ 介護や医療サービスの内容を看護師も理解したら、もっと退院支援に向けた援助を行なえるのかなと思うので、そういった研修を望む。
- ・ 医療者としての立場(安全を考える)、セラピスト・人間としての立場(本人らしさ、環境づくり)など様々な視点からのバランスが大切。
- ・ 「食べれなくなった時の対応」、「介護医療院の機能と役割」、「サ高住の役割」、「病院～在宅へ患者・家族へのメンタル支援」
- ・ 「介護福祉士(ヘルパー)からの事例提供(施設や在宅)」、「高次脳機能障害」、「復職」などについて